

## 新・方法序説

人類社会の進化に迫る認識と方法

河合香吏・竹ノ下祐二・大村敬一 編

A5判並製 360頁 予価：本体3900円+税  
ISBN978-4-8140-0505-5 C1030

刊行予定：2023年11月下旬 条件：新刊委託  
読者対象：教養～専門  
おすすめの棚：人類学・生態学  
おすすめ度：★★★★☆

### ◎異領域間の研究を繋ぐ「協働の辞書」を作る

何を共通の方法とし、共通のデータとするのか？ 多くの学際研究が取り組まれ半世紀以上、その精密な検討を欠いていた。例えば、人とサルで同じように見える行動を同じように観察／評価／記述することはできない。異領域間で対象と方法を共有する「辞書」はどうすれば作れるのか？ 学際研究を真に有機的に組織する方法論作りのための一冊。

◆河合香吏：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授  
竹ノ下祐二：中部学院大学看護リハビリテーション学部教授  
大村敬一：放送大学教養学部教授

## 「大学の森」が見た森と里の再生学

京都芦生・美山での挑戦

石原正恵・赤石大輔・徳地直子 編

A5判並製 350頁 予価：本体3600円+税  
ISBN978-4-8140-0504-8 C1045

刊行予定：2023年12月上旬 条件：新刊委託  
読者対象：教養～専門  
おすすめの棚：森林・環境  
おすすめ度：★★★★☆

### ◎研究者と市民は垣根を超えられたか？

毎年 2000 人超の研究者・学生が利用する教育研究施設であり、毎年 4000 人超が訪れる自然体験の場でもある芦生の森。その「大学の森」が地元美山町の市民と、森と里の共再生を目指し本気の超学際研究に取り組んだ。多様な価値観と立場が交錯する中での協働のコツや苦労、研究者の変化、また継続のヒントまで、現場の研究者が赤裸々に記す奮闘記。

◆石原正恵：京都大学フィールド科学教育研究センター准教授  
赤石大輔：大阪産業大学デザイン工学部准教授  
徳地直子：京都大学フィールド科学教育研究センター教授

**\* 日本認知科学会 第 11 回野島久雄賞 受賞 \***

### 街歩きと都市の様相

空間体験の全体性を読み解く

北 雄介 著

街の様相を客観的に可視化し、都市計画やまちづくりに実践的に貢献する「都市の在り様」の把握方法を提案する。

定価：本体3200円+税 ISBN978-4-8140-0465-2

## 注文書

9月号

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当		<b>新・方法序説</b> <b>【11/10 締切】</b> ISBN 978-4-8140-0505-5 C1030 予価：本体 3900 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当		<b>「大学の森」が見た森と里の再生学</b> <b>【11/20 締切】</b> ISBN 978-4-8140-0504-8 C1045 予価：本体 3600 円+税
番線印	冊	注文取扱条件	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当		<b>* 受賞 *</b> <b>街歩きと都市の様相</b> <b>【時 事】</b> ISBN 978-4-8140-0465-2 C3052 定価：本体 3200 円+税